



2022年6月29日

各位

会社名 株式会社 オプティム
代表者名 代表取締役社長 菅谷 俊二
(コード番号: 3694 東証プライム市場)
問合せ先 管理担当取締役 林 昭宏
(TEL. 03-6435-8570)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月24日に、プライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。

2022年3月時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

○当社の上場維持基準への適合状況及び計画期間

当社の2022年3月時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況ですが、流通株式比率については当社の試算では、26.4%（純投資目的の株式を考慮した場合27.8%）となっており35%という上場維持基準を充たしておりません。当社は、流通株式比率に関しては2027年3月期中に上場維持基準を充たすために、引き続き各種取組を進めてまいります。

○上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況及び評価（2021年12月～2022年3月）

菅谷氏より、昨今の不安定な市況（株式市場）を踏まえ、当該期間での株式の移動は株価への影響が大きくなると判断し実施はしていないとの報告を受けております。

一方、株式の流動性をさらに高め、投資家が売買をしやすい環境を確保する取り組みとして決算資料について、自社サイトで英文での開示を実施しており機関投資家をはじめとする海外の投資家への積極的な情報提供を実践しております。

以上のように、投資家が売買をしやすい環境を確保しつつ、菅谷氏の持株比率を下げることにより、東京証券取引所が定める流通株式比率の上場維持基準を充たすべく取り組んでおります。

○上場維持基準に適合していない項目のこれまでの状況を踏まえた今後の課題と取組内容

引き続き株式の流動性を高めるための施策を実施していくとともに、既存の株主に影響が少ないと思われる適切な時期に株式の売却をすすめるよう菅谷氏と協議してまいります。

○上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

流通株式比率の適合基準達成のためには、流通株式比率を約7.5%増加させる必要があります。

流通株式比率の適合に向けた取組としては、当社の主要株主でもある代表取締役菅谷が保有する株式の一部を既存株主や市場環境への影響等を総合的に考慮しながら、時間外取引等を含めた様々な手法を用いて、可能な限り現在の市場に与える影響を最小限にとどめつつ、段階的に売却を実施していく方針を菅谷氏と合意しております。

また、現状の株式市場における当社株式の売買出来高は、日々20万株前後で推移しておりますが、この株式の流動性をさらに高め、投資家が売買をしやすい環境を確保することが流通株式数の増加へ向けた課題であり、時価総額の増加につながると考えております。そこで、これまで以上に情報開示を充実させ、市場からの関心を高めつつ、決算資料や招集通知等の英文での開示を通じて、機関投資家をはじめとする海外の投資家への積極的な情報提供を行うことにより、流動性を高めるとともに、株式価値の向上を図っていきたいと考えております。なお、英文での招集通知につきましては、本年より当社サイトにて提供を開始しております。

以 上